



## 2 取り組むのは、“私”です

SDGsに取り組むのは、私たち一人ひとりです。

個人だけではなく、国連や国（政府）、県や市町村、民間企業や金融機関、さまざまな団体・組織などもSDGsに取り組む主役です。

2030年のSDGs達成にむけて取り組むことは、私たちの「今」と「未来」を守るために必要な行動であり、私たち一人ひとりの行動が「今」求められています。

“地球はこのままでは持たない——という危機を解決するために”という大きすぎて自分ごととして考えにくいですが、一人ひとりが取り組むことが大きな課題達成につながります



## 3 SDGsは17のゴール（目標）があります

2030年の目標達成まで10年をきっています！



SDGsは17のゴール（目標）があります（2ページ中央の17色のイラスト）。

例えば、ゴール6「安全な水とトイレを世界中に」に関心をもっているけれど、“私は何をどうしたらいいんだろう？”と思われることがあるかもしれません。

SDGsでは、17のゴールを達成するために、具体的な取組が示された169のターゲットとその目標の達成度を測るために232の指標が設けられています。



▲外務省HP

17のゴール、169のターゲット、232の評価指標は、外務省HPでもご覧いただけます

例



ゴール  
6

すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

ターゲット  
6. 1

2030年までに、全ての人々の、安全で安価な飲料水の普遍的かつ平等なアクセスを達成する。

指標  
6. 1. 1

安全に管理された飲料水サービスを利用する人口の割合

ゴール6「安全な水とトイレを世界中に」に関連した問題です



水道の水をそのまま飲む国は、何カ国あると思いますか？



答えは、日本を含めて12カ国です。「え！もっとあるはず！」と思われる方もいるのではないのでしょうか。なお、そのまま飲めるけれど注意が必要な国も32カ国しかありません。

国土交通省「令和3年版日本の水資源の現況」 ([https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/mizsei/mizukokudo\\_mizsei\\_tk2\\_000028.html](https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/mizsei/mizukokudo_mizsei_tk2_000028.html)) をもとに作成